

早いもので、フランスに来てから3ヶ月半経とうとしています。前回レポートを書いてから2ヶ月、レポート提出を前にして自分は何か成長しただろうか、正直な所不安になっていました。しかし、振り返ると決してその前の1ヶ月半とは同じではありませんでした。友だちが増え、また、一緒に遊び、勉強し、助け合える友達もでき、日々がより充実してきています。充実を感じると同時に問題にも直面しました。今回は、問題、学び、について振り返りをしていきたいと思います。

まず始めに起こった問題についてです。フランスに留学する学生は社会保障に入らなければならないのですが、その番号を手に入れるために、複数の書類提出が必要でした。全て揃えて提出したにも関わらず、言われた期日を過ぎても通知が来ません。これは想定済みなので、さらに二週間待ってみました。しかし来なかったため、事務所に行き、確認してもらったのですが、そもそも手続きした記録がない、と言われてました。そして一週間後に通知が来なかったら来るようにと言われ、来ないのでまた事務所に行き、今度は電話で確認してみても言われ、友人に協力してもらい確認するも、無いの一言。何とも言えない気持ちになりました。しかし諦めず、事務所に行くこと4回目。やっと番号を手に入れることができました。長かったです。この出来事で、文句の1つも言いたかったのですが、言いたくても言えない自分の語学力への腹立たしさ、悔しさを痛感しました。しかし、この問題を経験することで、諦めず向かって行くことの大切さも感じました。少し、愚痴みたいにはなりましたが、問題が起こると、なぜか、どこかわくわくしてる自分もいます。もちろん腹立たしくはありますが、こんな経験日本では、そうそうすることはないだろうな、と思うと、どこか、わくわくするのです。問題直面こそ留学の醍醐味だと思うようにしています。

続いて、学びについてです。勉強面では、一緒に勉強できる友達ができたとこの前と変わったところです。お互いに分からないところを聞き、教えあえるフランス人の友人ができました。熱心さにすごく刺激を受けます。語学面は正直そんなに伸びを感じていなくて不安になっていました。しかし、1人でパリに行った時に、ホテルの人が何を言っているのか、前は分からなかったのですが、理解できるようになっていて、また、写真を老夫婦にお願いした後、少し会話に発展したのですが、会話を楽しんでいる自分がいました。それに気づいた時少しの伸びかもしれませんが、すごく嬉しかったです。しかし、まだまだ、難しい手続きの話や、フランス語で行われる授業などをこなせるわけではありません。ささいな伸びでもすごく実感すると嬉しいので、日々学習をしていきます。

フランスで生活していて、日本と違う部分で驚きつつも、いいところだと思うのが、一人

ひとりが自分のペースで生活していることです。例えば、日本だとレジで行列ができていたら、店員も客も急ごうとせかせかとしますが、そういう風潮はありません。列ができていても店員と客の間で話始めたり、それを見ている待っている人も別にイライラした様子もなく普通にしていたりと、初めは驚きましたが、慣れるといい部分だと思うようになりました。喫煙者が日本よりも断然多いのにも関わらず、長寿の国と呼ばれる理由の1つにこの生き方が関係しているのではないかと思います。まだまだ、日々新しい発見があり、充実した毎日を送っています。フランスのいいと思う部分、嫌な部分、両方見てここで暮らせている、勉強できることに感謝しつつ嬉しく思っています。

